

リクルート事件被告が3人ランキング入り (日経)

Table with 4 columns: Rank, Name, Age, Position. Lists 19 people including Bushu, Hasegawa, Gorbachov, etc.

(注) 敬称略。対象は日本経済新聞(朝・夕刊最終版)、産業、流通、金融の4紙。見出しと冒頭の400字に含まれる主要人物を1記事ごとに1回と数えた。日経データバンク局 NEEDS-IR による。調査期間は'89年12月1日-18日。年齢、所属は12月18日現在。なお日本経済新聞朝刊「私の履歴書」に連載した八尋俊邦氏はランク外とした。



巨人しか球団はないのか、元木くん? 就任3年、依然元々のふらつくアキノ比大統領 ソ連に歩み寄る一方パナマ進攻のブッシュ大統領

位、明菜(16位)はいずれも落選。ただし、聖子は1年半ぶりのコンサートで「紅白が何より」報知とばかりに1万人のファンの前で熱唱した。また、米国の亡命でコマネチが3位、クレーター騒ぎでアキノ大統領が4位に入るなど、外国の女性もランキング入り。若者のアイドル、宮沢りえ(11位)、ウイंक(16位)も引き続き人気、紙面をにぎわせた。

紅白出場で明暗を分けた歌手がランキングに顔を並べる (スポーツ紙)

Table with 4 columns: Rank, Name, Age, Position. Lists 18 people including Onoda, Matsuda, Komanechi, etc.



世界史に残る東欧情勢の激変、日本ではわずか1年で2回も首相が交代。内外の著名人が相次いで亡くなった。新時代「平成」の1年目。時代の移り変わりを締めくくる'89年の12月1日、18日のスポーツ紙5紙と日経4紙の見出しにはどんな顔ぶれが登場したのかさっそくランキングを見てみよう。

のランキング1位は福岡ダイエーホークスがドラフトプロ野球新人選手選択会議で指名した上宮高校の元木大介くん。意中の巨人に振られ、中内オナー、田淵監督(5位)の「歓迎」(一氣に内定内定へ)スポンニチと見られたが(涙ながらに)ニッパン巨人への夢を貫くようだった。

12月のスポーツ紙ランキングを見て感じたのは、日本のスターというのは決してネアカでない、孤独だし、あまり幸せではないということ。別の言い方をすれば、日本人というのはネアカで幸せな人。あまりスターにはたがらないのかも知れない。



日本のスターの条件は「ネクラで孤独で不幸せ」 美里美寿々(ニッポンキャスター)

世間は奇つてたかたて不幸せにしたがるのだから、やはりスターなのである。暗い影をいまでも引きつって見えるから百鬼さんもスターであり続けている。さて、12月の「ネクラで孤独で不幸せ」な究極のスターは、アキノ大統領と元木大介くんだ。



薄氷を踏むゴルバチョフ、剣が峰の首脳たち 橋爪大三郎(東京工業大学助教授・社会学者)

国際情勢に沸いた'89年。新時代の夜明けを予感 「昭和」から「平成」で芸能界・政界の新旧交代も急 「ダイエー拒否」で元木1位。ベテランのはるみ、ピンクレディに対し、アイドルの宮沢りえ、ウイंकもランキング入り

第2次海部内閣発足。外交に走り回った内外の政治家も顔を並べる (日経)

Table with 5 columns: Rank, Name, Age, Party, Position. Lists political figures like 海部俊樹 (Prime Minister), 米大統領, etc.



世界情勢知らん顔。ムラに生きる日本の政治家
美里 美寿々(ニューズキャスター)

アメリカのプリンストン大学に留学していた85年... 1986年の私。私は毎日のように南アフリカに関する記事を目にした。



宿命のライバルが、絶妙のパートナーか
橋爪大三郎(東京工業大学助教授)

ネルソン・マンデラ氏が2月11日、釈放された。南アの黒人運動(ANC)のアフリカ民族会議、指導者として獄中にあること27年、反アパルトヘイト闘争の象徴的存在である。



衆院選で目立った地縁、血縁の強さ。東京ドームの大興行も話題に (スポーツ紙)

Table with 5 columns: Rank, Name, Age, Party, Position. Lists candidates like ローリング・ストーンズ, 海部俊樹, etc.

自民大勝で明暗分かれた国内政治家
ストーンズ、ポールも来日で躍り出る



宝塚男役といわれるおたかさん人気。政策もしっかり



負けても約13億円が転がり込んだというタイソン。

平成2年、あつという間に2カ月過ぎた。身近な話題を扱うスポーツ紙5紙、経済の総合情報の日経4紙の見出しはどんな顔が躍り出したのか。

90年3月の人チャート 日経4年連続スポーツ紙5年人名見出し発表

「桑田問題」でプロ野球界は大揺れ 日米ソ首脳がスポーツ紙でも上位に

最終日にトップが逆転。「桑田」怒濤の追い上げ (スポーツ紙)

Table with 4 columns: Rank, Frequency, Name, Title. Lists top figures in sports papers for March 1990, including figures like 桑田真澄, 勝新太郎, 海部俊樹, etc.

内閣改造で新顔の日本人政治家が目立つ1カ月 (日経)

Table with 4 columns: Rank, Frequency, Name, Title. Lists top figures in Japanese newspapers for March 1990, including figures like 海部俊樹, ブッシュ, ゴルバチョフ, etc.



化けの皮がはがれた無頼の二匹狼たち

「一匹狼」と世間で言われる人の中には、意外そうではない人が多かったです。3月のスポーツ紙チャート1位、2位の2人にもそれが通じていた。...



トリプル安の風向きもわからぬ日本の政治家

3月も重大事件の目押しで、なまじのことや注目されない。独立宣言で台風の目になっていたトリア最高会議のランズベリー議長も、選挙で勝利した東独CDUのドメジエル党首も、ブラジルのコロン大統領も、チャートからはみ出してしまった。...

(注) 敬称略。対象は日本経済新聞(朝・夕刊最終版)、産業、流通、金融の4紙。見出しと冒頭の400字に含まれる主要人物を1記事ごとに1回と数えた。日経データベースNEEDS-IRによる。年齢、肩書は3月末日現在。調査期間は3月1日-31日。日本経済新聞朝刊「私の履歴書」に連載した細川護国氏、19位タイの金泳三氏はランキングからははずした。



東京ドーム6日間の公演で30万人集めたポール・マッカートニー



ベストドレッサー特別賞(米)受賞。西側で人気のゴルバチョフ?



「この事件を映画にしたい」と、やっぱり怒りない勝新太郎



今秋の中間選挙にらみ、日本市場開放の実現残したいブッシュ

卒業、就職、転勤など「出会い」と「別れ」が交錯する3月。身近な話題を扱うスポーツ紙と紙と、経済の総合情報の日経4紙の見出しとはどんな「人間ドラマ」が繰り広げられたのか。...

来日外人タレントが4カ月連続でベスト10入り

Table with 4 columns: Rank, Name, Age, and Description. Lists top 20 foreign talents in Japan, including actors like Ken Watanabe and actresses like Rie Kitahara.

90年7-12月の人チャート. リトアニア問題で米ソ首脳活躍. Includes a small chart and text about international relations.

中間集計(14日)で16位の堤義明氏借しくもランク外へ

Table with 4 columns: Rank, Name, Age, and Position. Lists top 20 Japanese figures, including Prime Minister Nakasone and various cabinet members.



「虚勢を張る不動産屋」相次ぎ随つ

巨星随つ。4月の人チャートはふとそんな言葉を想起させた。字は随つた。ではな。随つた。である。...



謎の海部人気と松永特使の活躍

2月26日突然始まった株価の急降下は、その後も数日下げを続けて、まだ下げ止まらな。...



4月1日はエープリルフール。ソ連の週刊紙に地下室に閉じ込められた家族が45年振りに救出された記事が載った。...



の反自感情が高まっていると報じられており、6月3日の選挙はどう出る。...

ゴルバチョフ大統領をはじめソ連政治家が4人ランク入り (日経)

順位	頻出回数	人名	(年齢)	肩書
1	193	海部俊樹	(59)	首相
2	190	盧泰愚	(57)	韓国大統領
3	113	ゴルバチョフ	(59)	ソ連大統領
4	94	ブッシュ	(65)	米国大統領
5	42	武蔵嘉文	(63)	通産大臣
6	40	中山太郎	(65)	外務大臣
7	39	ペーカー	(60)	米国国務長官
8	38	遠辺美智雄	(66)	元大蔵大臣
9	34	橋本竜太郎	(52)	大蔵大臣
10	33	シェワルナゼ	(62)	ソ連外相
11	32	コール	(60)	西独首相
12	31	土井たか子	(61)	社会党委員長
13	29	小沢一郎	(48)	自民党幹事長
14	24	三重野康	(66)	日銀総裁
15	21	三重野栄子	(64)	参院福岡補選社会党公認候補
15	21	山口眞男	(64)	社会党書記長
17	20	坂本三才	(67)	官房長官
18	19	エリツィン	(59)	ソ連ロシア共和国最高会議議長
18	19	ブルンスキネ	(-)	ソ連リトアニア共和国首相
20	18	ヒルズ	(56)	米国通商代表部代表

(注) 敬称略。対象は日本経済新聞(朝刊・夕刊別紙版)、産経、流通、金融の4紙。見出しと冒頭の400字に含まれる主要人物を1記事ごとに1回と数えた。日経データベースNEEDS-IRによる。調査期間は'90年5月1日~31日。年齢、肩書は5月31日現在。なお日本経済新聞朝刊「私の履歴書」に連載した佐藤愛子氏、20位タイの大内啓伍氏はランク外とした。

盧泰愚韓国大統領、スポーツ紙でも8位にランク入り (スポーツ紙)

順位	頻出回数	人名	(年齢)	肩書	一口解説
1	43	中森明菜	(24)	歌手	"ゲンキな"笑顔ふりまき、ハワイ、ニューヨークや・ジャクソンの公演へ。新曲は7月17日発売
2	42	都 はるみ	(42)	歌手	NHK再放送の視聴率は14.6%の人気ぶり。新曲の録音を終え、「発売でない歌手をめざす」とか
3	38	荻野目慶子	(25)	女優	自宅で18歳上の"恋人"の無残な姿を発見。ショックで緊急入院。"清純派"の女優生命はいかに
4	37	黒沢 明	(80)	映画監督	新作"夢"がカンヌ映画祭のオープニング飾る。日本より海外が評価。世界のクロスワフはさらに元気
5	36	桑田真澄	(22)	巨人軍投手	復帰試合完封には"ホモ・ベースボールだ"とコミックジョナーもびっくりに。結局、5月は2勝2敗
6	34	武 豊	(21)	騎手	オグリキャップで安田記念制覇の若武者もダービーは5着。「来年少き」と誌誌燃やす
7	33	高峰三枝子(故人)	(71)	女優	歌う映画スター、脳こうそくで亡くなる。フィルム一仲間の上原謙も涙。昭和の星がまた消えた
8	28	盧泰愚	(57)	韓国大統領	与党・民自党の支持率低迷で、外交に活路求め訪日。日韓は「近くて近い国」として新時代に
8	28	藤山寛美(故人)	(60)	役者	雲の虫も肝硬変に勝てず、56年間の役者生活に幕。主をなくした松竹新喜劇の行方気がかり
10	27	近藤真彦	(25)	歌手	花博で子供と合唱。スポンサーまでいたF3レースに出場と多忙。明菜との仲は依然進展せず
11	26	ゴルバチョフ	(59)	ソ連大統領	急進派エリツィン台頭、バルト3国独立問題長期化と内憂続くが、米ソサミットでは得意の熱弁
11	26	加東康一(故人)	(59)	芸能評論家	舌ガンと戦い、奇跡の復活を遂げたが、ついに帰らぬ人に。中学生の息子を残し無念の死
13	25	天皇陛下	(56)	—	昭和天皇崩御以来、初めて国技館に足を運ばれ、大相撲をご観戦。熱心にご声援
13	25	川嶋紀子さん	(23)	礼宮殿下ご婚約者	礼宮殿下とのご婚約は6月29日に決定。紀子さんブームで柔道の高藤氏などの便乗組も続々
15	24	美空ひばり(故人)	(52)	歌手	元マネージャーの実話本、本人の断片日記出版など周囲の高魂は相変わらず大きい
16	23	藤井郁弥	(27)	歌手	10年越しの恋人、都度まちなちさんと婚約を発表。「男としてケジメをつけた」という
17	22	海部俊樹	(59)	首相	西南アジア歴訪、盧大統領との会談など外交でポイント稼ぎ、歴代内閣3位の高支持率に
17	22	西城秀樹	(35)	歌手	黙女、十朱幸代との結婚が一部で報じられ、「松平健、大地真央に続く大物カップル」と騒がれたが...
19	21	林真理子	(36)	作家	18日、神田カトリック教会で東郷順氏と挙式。「女が早く起きるのが結婚だ」と学んだという
20	20	十朱幸代	(47)	女優	12歳年下の西城との噂も「自然体で」と軽くなる。余韻「恋多き女」の演技にさらに磨きがかかる

(注) 敬称略。サンケイスポーツ(サンスポ)、スポーツニッポン(スポニチ)、東京中日スポーツ(トーチュウ)、日刊スポーツ(ニッカン)、報知新聞(報知)の5紙の東京版(即売版)を調べた。1面(両1面)、社会面、芸能面の常設面の見出しに個人名や肩書が登場した回数を数えた。原則としてニュースか、ニュースに準じた特集の見出しに絞った。また、1つの面に同じ名前や肩書が出てきた場合は、異なる記事の場合を除き、まとめて1回とし、1面と社会面など異なる面に名前が出た場合は別々に数えた。調査期間は5月1日~5月31日。年齢、肩書は5月31日現在。故人は逝去時の年齢を記した。河合義隆氏(故人)、20位タイのジャネット・ジャクソンはランキングからははずした。

5月の人チャート

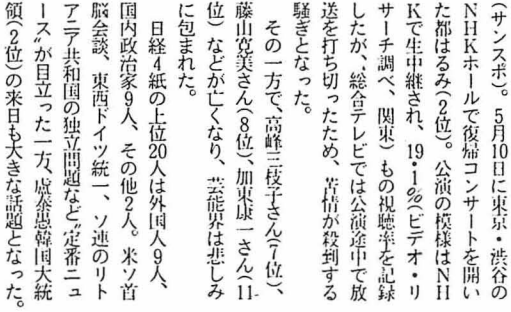
事件の主役たちが続々復活
米ソ韓首脳の"サミット"に世界の目

5月のスポーツ5紙の見出し頻出回数上位20人の内訳は日本の芸能関係13人、スポーツ界2人、外国人2人、皇室関係2人、政界1人、主役の復活が世間を騒がせたばかりに続いて芸能人の訃報が相次いだ。

〈明菜、顔、さ仕事ニッカン〉
今月のランキング1位は昨年12月31日の記者会見以来、姿を隠していた中森明菜。新曲のジャケット写真の撮影などのためにハワイへ渡るなど、復帰に向けて「健在ぶり」を示し始めた。
(5年5カ月ぶり帰ってきたらみ節)
(サンスポ)。5月10日に東京・渋谷のN日ホールで復帰コンサートを開いた都はるみ2位。公演の様子はNHKで生中継され、19・10ビデオ・リサーチ調べ、関東)もの視聴率は記録したが、総合テレビでは公産中での放送を打ち切ったため、苦情が殺到する騒ぎとなった。
その一方で、高峰三枝子(71位)、藤山寛美(60位)、加東康一(59位)など、かつての活躍が懐かしみに包まれた。
日経4紙の上位20人は外国人9人、国内政治家9人、その他2人。米ソ首脳会議、東西ドイツ統一、ソ連のリトアニア共和国の独立問題など、定番ニュースが目立った。一方、盧泰愚韓国大統領(2位)の来日も大きな話題となった。



「自然に任せたい」と西城との年内式説を否定する十朱だが...



韓国大統領として初めて国会で演説した盧泰愚氏



海外要人の名前は原語読みが「外交のイロハ」

美里美寿々(ニースキャスター)

番組の若手スタッフN君には、アバウトな性格のままの微笑ましいボケ癖がある。世の中、人の名前を覚えるのは、覚え直してはいるが、いまはまいるけれど、N君のボケが気に入っている。
要丸ファンは、彼を「トヨ」としか認めないといふくらい信じている。スポーツ紙一面をたびたび飾る武蔵は、オオトヨ、テレビのディレクターなのにテレビをほとんど見ない彼は、スポーツ情報はもっぱら新聞で得る。言われて気が付いたがスポーツ紙の名前にはほとんど振り仮名がない。江副をしばらくの間「エフク」と読んでいたのも可愛かった。
そう言う私もちょっと前に「美里、大ノリでコンサート」とかいうスポーツ紙の記事を見た。またかと思ったのも束の間、渡辺美里のことだった。かと思えば「美里、妊娠」と題したスポーツ紙の記事を見たときは「あ、妊娠だ。妊娠だ」と思っていた。ところがこの私がいかによく知っている。こちらは渡辺美里の奥さん岡田美里(ミリ)の妊娠だった。

韓国の盧泰愚大統領の訪日に先立ち、愛知韓国人会館が放火される事件があった。後日、赤報隊が通信社に送りつけた声明文の中には「ロタイプは日本にくだる。来たら命の保証はないと思え」という一節があった。誰もがあつてはいる韓国語読みの「ノテウ」をあえて日本語読みにしたところに、彼らは韓国を認めない姿勢を表そうとしたように思える。誰も自分の名前を正確に読んでほしいと思える。正しく読むのが最低限のマナーである。アメリカのレーガン前大統領、日本の新聞「マスコミ」は就任後しばらくの間「リガン」と書いていたが、リガンのほうがより近いアクセントだと分かって、一斉に直したことがあった。韓国の大統領も前の全斗煥氏から、ようやく韓国語読みに変えた。国号元首と、どこがなぜ中国だけは「鄧小平(トーンショウヘイ)、李鵬(リホン)」なのか分からない、テンチャオビン、リホンとすべきではないか、各国の首脳や要人の名前を原語にできるだけ忠実に発音するのは外交のイロハだと思うのだが。



調整局面で影響力を盛り返すアメリカ

橋爪大三郎(東京工業大学助教授)

前月ベストテン入りした盧泰愚大統領が、5月の来日で堂々の2位。国会での演説も格調高く、国際的地位を高めた。不運にも日本の身代わり?にこんな韓人韓国は、不運にも日本の身代わり?に分裂国家となつて、戦争の傷跡をいまなお背負う。そこからは眺めれば、日本の態度は腹立たしい。今回さあたるに日三三の法的身分を解決するはずが、ついで天皇の「お言葉」問題にエスカレートした。憲法の原則からいって、象徴天皇は「謝罪」する立場にない。お言葉」が政治・外交問題になること自体困ったこと。だが、韓国民の無念は察するに余り。それを背に、盧大統領も退くに退けたい。保守3党を合同したのに、支持率がわずか14%に急落し、全大中正の陣営にも抜かれた。経済もにわか失速。背水の陣でどうにかポイントを探したい。
自民党・小沢幹事長の土下座発言(多分本音)などが飛び出すのも、国民がぼんやりしているから。被害者意識が先に立ち、主権者の自覚がない。日本の起こした戦争である以上、責任をとって全部後始末をするのが、戦後新たに主権者となった者の

務めである。まっぴりポーランドに謝ったドイツに比べ、大学生と中学生との開きがある。
二二へ来て、世界は調整局面に入った。この激動の一年、いや、20世紀の後半である。6月は米ソ首脳会議、7月のサミットと日程が目白押し。ドイツ統一、ポスト冷戦の世界秩序を各国が模索してきた。そんな中、アメリカが、軍事費削減の余力もあって、影響力を盛り返している。ペレストロイカ成功させて、ソ連よりアメリカの国益だ。リトアニアをなだめて譲歩させる一方、武力はいかん、ゴルバチョフに釘をさす。おかげで妥協の線も見えてきた。いっぽう日本の政治システムにも喉を入れるチャンス。中曽根首相の時みたいに党内基盤の弱い内閣ほど御しやすい、とアメリカは見ていた。その狙いが竹下離れを狙う海部、小沢ラインの意思と一致し、選挙改革が区々に現実味を帯びてきた。
いまの中選挙区制が、国際的な責任に求められる政治システムなのは明らか。政権をめざす社会党にとって特に、願ってもない改革案はす。土井委員長がこの流れをうかがって動くか注目だ。



新日の"アイドル"の活躍が目立った1カ月

(スポーツ紙)

Table with 5 columns: Rank, Name, Age, Job, and Explanation. Lists celebrities like Akikazu Takikawa and Shigeo Fukuda.

注: 敬称略。サンケイスポーツ(サンスポ)、スポーツニッポン(スポニチ)、東京中日スポーツ(トーチュウ)...

6月の人チャート

平成のロイヤル・カップル誕生 日系フジモリ氏、ペルー大統領に

6月のスポーツ5紙の見出し頻度同... 敬上、20人の内訳は日本の芸能界10人...

カンボジア政治家2人がランク入り

(日経)

Table with 5 columns: Rank, Name, Age, Job. Lists political figures like H. S. Ran and Norodom Ranariddh.

注: 敬称略。対照は日本経済新聞(朝・夕刊紙終版)、産業、流通、金融の4紙、見出しと冒頭の400字に含まれる主要人物を1記事ごとに1回と数えた...



出すぎた杭は打たれない 頑張れフジモリ氏!

アルベルト・フジモリ氏がペルー大統領選挙の決戦投票に臨む直前、東京の地下鉄の中で2人のサラリーマンらしき中年男性がこんな会話をしていた。



大統領たちに、冷や汗の夏

日系のアルベルト・フジモリ候補が、ノール賞作家的バルガス・リョサ候補をくだして圧勝、大統領に当選を果たした。向こう5年間、沈没寸前のペルーの舵取りを任される。



結婚の儀を終え、赤坂御用地内の新居に入られた秋篠宮妃殿下とベルーの超インフレを打開できるか?次期大統領のフジモリ氏

光進グループの小谷速捕で8位にランク入り (日経)

Table with 5 columns: Rank, Name, Age, Position. Lists various political figures and their rankings.



「コンビ」の妙で政局を操る指導者たち

美里美寿々(ニースキャスター)

世の中には、「コンビの妙」というものがあるが、激動のヨーロッパを担う指導者たちを眺めていると、ナルホドというコンビの妙が見えてくる。



したたかな人事、でも先行きは不透明

橋爪大三郎(東京工業大学助教授)

7月2日から開かれたソ連共産党大会は、予定を延長して13日に閉幕。ゴルバチョフ書記長のしぶとさばかりが印象に残った。

プロ野球選手4人ランク入り。シーズン終盤戦へ (スポーツ紙)

Table with 5 columns: Rank, Name, Age, Position. Lists professional baseball players and their rankings.

(注) 敬称略。対象は日本経済新聞(朝・夕刊併記)、産業、流通、金融の4紙。見出しと冒頭の400字に含まれる主要人物を1記事ごとに1回と数えた。

7/1~7/25の人物チャート

「若き」ヒーローたちが大活躍 存在感アピールのパフオーマンスも



1年3カ月ぶりの新曲「Dear Friend」で復帰した中森明菜

7月のスポーツ紙の見出し頻度回数上位20人の内訳は日本の芸能界9人、スポーツ界4人、皇室2人、外国人2人、その他3人。



PEOPLE & PEOPLE

独弁—無理に理屈をつけて言い張ること(広辞苑)
 一サダム・フセイン大統領
 この運命はどなたも納得されると思う。「クウェートに革命が起り、その革命政府の要請でクウェートを守るため軍を送った」アラブとクウェートに在る外国人は人質ではなく客人だ。彼らを守るために軍事施設などに収容した。こんなのは強弁以外の何ものでもない。アラブの狂犬、ならさも言えそうなのだ。
 さて、「サダム・フセインはウソつきヒトラーと同じだ。この全世界の敵と闘うには武器を取るしかない」と思われる。サダム大統領は、この苦境のアメリカ財政、大軍な中間選挙に向けて下がりつづいた大統領選挙、ゴルバチョフにさらわれた国際政治のリーダーシップを奪回—フシユさん、都合のいいときに文句なしの悪者が出てきて助かったですわと申し上げたいくらいに、サダム・フセインはタイミングよく文句なしの悪行を働いてくれたと思う。



美里美寿々(ニースキスタ)

フシユの演技に振り回されるトシキちゃん

アメリカ国民の70%パーセント以上が、イラクを武力でやっつけるべきだとするムードの中で、フシユさんは(語弊はあるかもしれないが)どこか嫌々として、いま強いリーダーを演じているのかも知れない。とすれば、彼のフセイン批判も一種の強弁とも言えるのではないか。
 そんなフシユさん、ねえ、トシキ、あなたも友達ならウチの兵隊を応援してよ。できればおカネ以上の手助けがほしいな」と言われ、現行法の改正まで真剣に考え込んでいた海部さん、ちよつと言いつつ、この国難をどうにかする。国連の一員である日本は、原則は国連の決議に従うことである。日米同盟といふものは、ここで優先されるはずだ。アメリカに賛成案をつかされた途端に「では駐留米軍の経費負担増はどうか」と検討するのは筋違いの話である。
 へたに強弁に言いまくるめられて振り回されているよ。は、いつその日本人の保護だけを考えているほうが、安全策のような気がしてならない。



橋爪大三郎(東京工業大学助教授)

突然の悪役登場に、保安官張り切る

赤マル付きて一躍チャート上位に初登場の、サダム・フセイン大統領。イラクの戦車隊を指揮して8月2日、あつとやうにクウェートを占領した。フシユ大統領の反応も素直かつ、すかさずイラク、クウェートの在外資産を凍結すると同時に、経済封鎖を敢行、日本など各国の尻を叩いて足並みを揃えさせる。国連安保理は歴史的な制裁決議を採択、米ソ英仏などの多国籍艦隊が、イラクをとり囲んでいる。1年前には考えられなかった展開が続いている間に、原油価格が暴騰、あべこべに株価は暴落した。インフレと景気後退の懸念に、バブル経済がみじめな終りを迎えている。
 このころでフセイン大統領、バース党の殺し屋からの上りつづいた野心家で、不敵な面構えは悪役ふうでつづけた。丸腰同然のクウェート侵略は、併降の余地なし。悪役登場に、ポスト冷戦時代、最初の悪役を迎えたアメリカの気が入るよか目立つ。イラクの動きは事前に察知できなかったのか、アメリカの偵察衛星は損んでいたはずだし、ソ連やイ

スラエルも何か情報を得ていたろう。フシユはそこのへんを承知のうえで、ある程度イラクを泳がせ、国際世論の離れを背にさつと選出にかかるといふ段取りを描いていたように思う。
 しかし、人質のせいで、連戦即決の武力行使はむずかしい。経済封鎖にも時間がかかる。ぐずぐずしているうちに、アラブの反米感情がまた燃え上がるかも。パレスチナ問題をはじめ、西側先進国に対する不信・不満は根深いものがある。フセイン大統領に同情が集まれば、経済封鎖も尻抜けになる。
 こんなとき、日本は何をすればいい? 海部首相は夏休みを兼ね、中東5カ国をひと回りするはずだった。でも情勢が急変して、急きよ取り止め。宿題が出来てないから、官邸にこもって勉強します。みたいでがっかりだ。相変わらず、外務省、政治家の勉強不足、危機管理にまるで弱い体質をさらけ出した。根柢派のアラブ諸国を支援するとか、やることはいくらもある。悪漢を懲らしめようとかん張り合いがなからう。

米国政治家がら人ランク入り (日経)

順位	頻出回数	人名	(年齢)	肩書
1	159	海部俊樹	(59)	首相
2	149	サダム・フセイン	(53)	イラク大統領
3	145	ブッシュ	(66)	米国大統領
4	76	中山太郎	(66)	外務大臣
5	48	ゴルバチョフ	(59)	ソ連大統領
6	47	フセイン	(54)	ヨルダン国王
7	43	ヤイター	(59)	米国農務長官
8	34	ムバラク	(62)	エジプト大統領
9	33	坂本三十次	(67)	官房長官
10	32	シェワルナゼ	(62)	ソ連外相
11	29	デクエヤル	(70)	国連事務総長
11	29	金丸信	(75)	元副総理
13	26	ペーカー	(60)	米国国務長官
14	23	チェイニー	(49)	米国国防長官
14	23	フィッツウォーター	(47)	米国大統領報道官
14	23	李鵬	(—)	中国首相
17	21	土井たか子	(61)	社会党委員長
17	21	水野文雄	(36)	オイスカ農業技術指導員
19	20	小沢一郎	(48)	自民党幹事長
20	19	武藤嘉文	(63)	通産大臣

(注) 敬称略。対象は日本経済新聞(朝・夕刊最終版)、産業、流通、金融の4紙。見出しと冒頭の400字に含まれる主要人物を1記事ごとに1回と数えた。日経データバンク系NEEDS-IRIによる。調査期間は90年8月1日～31日。年齢、肩書は8月31日現在。なお日本経済新聞朝刊「私の履歴書」に連載した岡谷正基氏はランク外とした



注目の中東問題。イラク大統領トップに踊り出る

(スポーツ紙)

順位	頻出回数	人名	(年齢)	肩書	一口解説
1	43	サダム・フセイン	(53)	イラク大統領	イラク、クウェートと次々戦争起こす。中東のヒトラー。英雄視する見方は日本では理解できない
2	39	萬屋錦之介	(57)	俳優	息子の文通事故死、角膜炎入院と災難続きだが、早期退院で舞台復帰
2	39	中森明菜	(25)	歌手	出演番組は軒並み視聴率アップ、復帰曲は80万枚を超える勢い。でもやっぱり暗い表情が目立つ
4	38	海部俊樹	(59)	首相	イラクのクウェート侵攻では、日本人買問題、中東買問題等で後手の対応、日本外交は正念場
5	33	勝新太郎	(58)	俳優	麻薬所持で逮捕されたハワイで、なんと麻薬減量減量チャリティーに出演「戒めはパンツ」と宣言?
6	31	水野文雄	(36)	オイスカ農業技術指導員	新人民軍から無事解放され、アキノ大統領を表彰。訪問「フイリピンにはまた戻るつもり」と元気
7	25	佐久間良子	(51)	女優	映画ロケ中、ドアに挟まれあややあや指切傷のケガを負うが、約2週間で復帰。さすが女優
8	21	淡路恵子	(57)	女優	三男の俳優・小川晃広さんの計りに仕事先の英国から急帰帰国。悲しみの対面に涙
8	21	松田聖子	(28)	歌手	世界デビュー曲は好調だが、米誌が「共演の米アイドルを「たらしこんだ」東洋の魔女」と酷評
10	19	宮沢りえ	(17)	タレント	24時間テレビのビートル衣装のホスターが大人気。来年7月の初ミュージカルも決まる
11	18	ブッシュ	(66)	米国大統領	イラク・ショックで即座にサウジに軍を派遣、一触即発。戦争勃発の危機続く
12	16	川崎麻世	(27)	タレント	昨年生まれた長女、恵ちゃんを連れて米国人キャロリンさんと挙式「妻が天使にみえた」
12	16	山田邦子	(30)	タレント	12月公開の主演映画でのウェディングドレスに「やっぱり最高」と感激。本当の花嫁姿はいつ?
14	15	桑田真澄	(22)	巨人投手	8月までに11勝。悪魔本の中牧氏を訴えた裁判は和解で灰色決着。笑顔がふりまわす
14	15	清原和博	(23)	西武内野手	史上最年少の22歳11カ月で150号アーチを達成。8月までに33号放ち、初の本塁打王のチャンス
16	14	川中美幸	(34)	歌手	天安門事件以来初の日本人として中国公演。大歓迎に「友好のために今後も続ける」と力説
16	14	高藤雅樹	(25)	巨人投手	8月までに16勝あげ、2年連続20勝に勝率。最多勝、防御率1位、MVPとタイトル独占狙う
18	13	マローン・ブランド	(66)	俳優	殺人罪で起訴された長男の保釈金の工面に10年振りに映画主演。何とマフィアのボスを演じる
19	12	皇太子殿下	(30)	—	ベルギー、北米を御訪問。会見でお姫選びについて「途中だ、ということですね」と御発言
19	12	中山太郎	(66)	外務大臣	海部首相に代わって中東5カ国を訪問。人質問題で何となくクウェート外務省に批判集中

(注) 敬称略。サンケイスポーツ(サンスポ)、スポーツニッポン(スポニチ)、東京中日スポーツ(トーチュウ)、日刊スポーツ(ニッカン)、報知新聞(報知)の5紙の東京最終版(即朝版)を調べた。1面(両1面)、社会面、芸能面の常設面の見出しに個人名や肩書が登場した回数を数えた。原則としてニュースか、ニュースに準じた特集の見出しに数えた。また、1つの面に同じ名前や肩書が出てきた場合は、異なる記事の場合を除き、まとめて1回とし、1面と社会面など異なる面に名前が出た場合は別々に数えた。調査期間は8月1日～8月31日。年齢、肩書は8月31日現在。小川晃広氏(故人)、19位タイの藤田元司、堤大二郎、由紀さおりはランク外とした



「24時間テレビ」(日テレ系)の総合司会を務め大感度の山田邦子



自衛隊の海外派遣を求める米国の圧力に頭が痛い中山外相

「24時間テレビ」(日テレ系)の総合司会を務め大感度の山田邦子。自衛隊の海外派遣を求める米国の圧力に頭が痛い中山外相。映画撮影中に大ケガを負った。日経4紙の上位20人は外国人12人、国内政治家7人、その他1人。こちらがイラクのクウェート侵攻に関連した話題が毎日紙面をにぎわせた。

8月の人チャート

イラクがクウェートを併合、米国のサウジ派兵で一触即発

8月のスポーツ紙の見出し頻出回数上位20人の内訳は日本の芸能界10人、スポーツ界3人、外国人3人、日本の政界2人、皇室1人、その他1人。予期せぬ事件、事故で大揺れの1カ月となった。

イラク軍、クウェート制圧。領土と原油問題めぐり侵攻(ニッカン)。8月のランキング1位はクウェートを占領、西側の制裁や軍事行動への盾として欧米人、日本人などを人質にとったイラクのフセイン大統領。米、英、ソ連などの各国は兵力を派遣し経済封鎖を続けているが、イラクはクウェートの併合を発表。紛争は長期化する様子も帯びている。
 日本も海部首相(4位)が資金援助を始めとする中東買断策を提示した。しかし、米国などから「もっとリスクを分かち合う必要がある」と非難の声もあがるなか自衛隊の海外派遣議論などが自民党内から浮上、論議を呼んだ。この他にも突然の暗いニュースが多かった。萬屋錦之介(2位)と淡路恵子(8位)の間の息子が交通事故で亡くなったほか、佐久間良子(7位)が映画撮影中に大ケガを負った。
 日経4紙の上位20人は外国人12人、国内政治家7人、その他1人。こちらがイラクのクウェート侵攻に関連した話題が毎日紙面をにぎわせた。